

# 第1学年〇組 音楽科学習指導案

場 所	教室
指導者	教諭
使用機器	タブレット PC
使用アプリ	Scratch3.0 (オンライン版)

1 題材名 ようすをおもいうかべよう

2 題材観・児童観・指導観

## 【題材観】

本題材は、小学校学習指導要領解説音楽編（現行）において以下のように示されている。

A 表現（1）歌唱の活動を通して、次の事項を指導する。

イ 歌詞の表す情景や気持ちを想像したり、楽曲の気分を感じ取ったりし、思いをもって歌うこと。

ウ 自分の歌声及び発声に気を付けて歌うこと。

A 表現（3）音楽づくりの活動を通して、次の事項を指導する。

イ 音を音楽にしていくことを楽しみながら、音楽の仕組みを生かし、思いをもって簡単な音楽をつくること。

B 鑑賞（1）鑑賞の活動を通して、次の事項を指導すること。

ア 楽曲の気分を感じ取って聴くこと。

イ 音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取って聴くこと。

本題材では、音楽を聴いて場面の様子を想像しながら楽曲の気分を感じ取ったり、音楽に合わせて体を動かしたりする活動を通して、鑑賞する楽しさを味わわせる。また、歌詞の表す様子や気持ちを想像し、思いをもって表情豊かに歌うことに焦点を当てた学習を進めていく。

## 【児童観】

⇒省略

## 【指導観】

本題材では、表現を豊かなものにするために必要な児童の感性を育てることに重点を置いた学習を展開していきたい。歌詞の表す様子や気持ちを想像しながら、楽曲の気分や語感に合った表現を工夫して歌う学習をしていく。その発展した学びとして、本時では Scratch で教師が作成したプログラムである「リズムメーカー」を用いて、児童は音楽づくりを行う。これまで学習してきた6パターンのリズムを「リズムメーカー」を活用して組み合わせる活動を通し、児童のプログラミング的思考を育むだけでなく、音楽づくりを行う過程で試行錯誤することとなり、児童の活動への意欲及び思考も深まると考える。最終的には「リズムメーカー」で作成したリズムを実際に楽器で演奏することで児童の考えや願いがより深まった表現が可能となるように指導していきたい。

3 プログラミング教育について

### (1) プログラミング教育で身に付けさせたい力

本時の学習では、リズムメーカーを活用した音楽づくりを通して、

③目的に応じて数や組み合わせなどを変え、よりよいものを生み出す力【組み合わせ・試行錯誤】

を育てていく。本時で使用するリズムメーカーは、6通りのリズムの組み合わせが考えられるようになっている。児童は、4人グループで1人ずつ1つの楽器を担当し、リズムメーカーで考えた音楽を演奏する。自分が担当する季節のイメージや歌詞、挿絵、写真などから想像を膨らませ、どのようなリズムの組み合わせをすれば自分の思いやイメージに合う音楽になるのか児童が試行錯誤しながら考えていく。その過程が、プログラミング的思考であると捉えている。

### (2) 教科等横断的な指導について

主に生活科においてアンプラグドの学習を行い、「命令カードを組み合わせて、友達とダンスをしよう」「朝起きてから学校に行くまでをプログラミングしよう」「給食当番の仕事をプログラミングしよう」という3教材を扱った。プログラミングの存在を知り、身近な生活でプログラミングが使われていることに気付かせることから始める。3つの教材を通して、様々な手続きに手順があることに気づき、与えられた手順の最適な順番を考え、効率的に生活するよさに気付かせることをねらいとしている。

国語科「しらせたいな、見せたいな」の単元で、どのように文章を並べたら分かりやすく相手に伝わるか考えたり、音楽科のリズム遊びの中でもリズムカードの並べ方を工夫して考えたりする学習も行ってきた。

### (3) 発達の段階に応じた指導について

本校では、低学年の段階において児童の日常生活をプログラミングしたり、「ともだちロボット」を活用しながら体を使ったりしたアンプラグドの学習、中学年の段階では、アンプラグドからコンピューティングへの接続期としてBee-Botを利用した学習、そして高学年の段階で「スクラッチ」を利用したアニメーション作りやストーリー作りなどの学習を実践している。

本時を行うにあたり、1年生の段階でパソコンを利用した簡単なスクラッチの学習を行った。自分が選択したキャラクターをゴール地点に向けてどのように動かしたらよいのか、その動きの組み合わせを考えた。このような“プログラミングの方法を学ぶ授業”ではなく、本時は“プログラミングの働きのよさを活用して、課題の解決に取り組む授業”として展開していく。

## 4 題材の目標

- 楽曲や演奏の楽しさに気付いて聞いたり歌ったりする学習に進んで取り組もうとしている。
- 楽曲の気分を感じ取りながら、想像豊かに聴いたり思いをもって表現したりする。
- 歌詞の表す様子や気持ちを想像して、楽曲の気分に合った表現を工夫して歌う。
- 楽曲の楽しさや演奏のよさに気付いて聴いている。

## 5 教材

- 「おどる、こねこ」 アンダソン 作曲
- 「ひのまる」 高野辰之 作詞 岡野貞一 作曲 文部省唱歌
- 「はる なつ あき ふゆ」 三浦真理 作詞・作曲

6 本題材で主に扱う〔共通事項〕と学習活動の関わり

〔共通事項〕ア	音色	旋律・拍の流れ・リズム	速度・強弱
〔共通事項〕イ	反復		
主な学習活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な楽器の音色に気を付けて聴く。</li> <li>・繰り返し表現される猫の鳴き声を手がかりにして、楽曲の気分の違いを感じ取る。</li> <li>・自分が想像したイメージや思いに合う音色の楽器を考え、その特徴を生かして鳴らし方やリズムの組み合わせを工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主な旋律の変化を感じ取りながら、拍の流れに合わせて体を動かそうとしている。</li> <li>・同じリズムが繰り返されている旋律のまとまりや拍の流れを感じ取りながら、のびのびと歌う。</li> <li>・歌詞や旋律に合うリズムの組み合わせを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の表す場面を想像し、声の強弱や速度の変化が自然と歌に生かせるようにする。</li> </ul>

7 評価規準

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
<p>①想像したことや感じ取ったことを言葉や体を使って表すなどして、楽曲や演奏の楽しさに気付いて聴く学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>②歌詞の表す様子や気持ちを想像しながら歌ったり演奏したりする学習に進んで取り組もうとしている。</p>	<p>①歌詞の表す様子や気持ちを想像して、発音や表現を工夫し、歌い方や演奏の仕方について思いをもっている。</p>	<p>①旋律のまとまりや拍の流れを感じ取りながら、正しい音程やリズムで歌っている。</p> <p>②歌詞の表す様子や気持ちに合った表現で歌ったり、演奏したりしている。</p>	<p>①想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の楽しさや演奏のよさに気付いて聴いている。</p>

8 指導の実際（8時間扱い）

時	○学習内容 ・主な学習活動	・指導上の留意点 ◇評価規準【方法】	【共通事項】
〈1次〉楽曲の楽しさに気付き、物語を自由に想像しながら聴く。			
1	<p>○猫の様子を思い浮かべながら、楽曲全体の気分を楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな動物が登場するのか想像しながら、音色や旋律に気を付けて聴く。</li> <li>・猫の様子を思い浮かべて体を動かしたり、鳴き声をまねたりしながら聴く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バイリオンで猫の鳴き声を表現していることを伝え、音楽を聴いて、全員で猫の鳴き声の部分を確かめる。</li> <li>・拍の流れや猫の鳴き声に合わせて体を動かそうとしている児童の動きを紹介し、音楽の流れを感じ取って聴いているよさをほめる。</li> </ul> <p>◇想像したことや感じ取ったことを言葉や体を使って表すなどして、楽曲や演奏の楽しさに気付けて聴く学習に進んで取り組もうとしている。【関①発言内容、行動観察】</p>	音色 旋律
2	<p>○場面の様子を思い浮かべて、楽曲の気分の変化を感じ取って聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体を動かしながら聴いたり、音楽の流れにのって聴いたりしながら、猫の鳴き声が聴こえたところや気分が変わった感じのところで挙手する。</li> <li>・猫たちの踊りが、どのように変わっていくのかを想像しながらお話を考え、発表する。</li> <li>・猫たちの様子を想像しながら、体全体を動かして聴く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板に「はじめ」「なか」「おわり」を示し楽曲の構成を整理する。</li> <li>・猫の鳴き声を表す音が聴こえなかった部分が、楽曲の気分が変わったところだと気付くようにする。</li> <li>・一人一人の感じたことを大切に、楽曲の気分を感じ取りながら体を動かして聴くように助言する。</li> </ul> <p>◇想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の楽しさや演奏のよさに気付けて聴いている。</p> <p>【鑑①行動観察、発言内容、ワークシート】</p>	音色 旋律 反復
〈2次〉旋律のまとまりを意識して歌う。			
3	<p>○旋律の特徴を感じ取って歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の写真を見ながら、国旗について自由に話し合う。</li> <li>・歌詞の表す様子や気持ちを想像しながら歌う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の国旗の特徴について話し合い、共通教材「ひのまる」への学習活動の導入を図るようにする。</li> <li>・同音に続いて上行したり下行したりする旋律の動きに気を付けて歌うように助言する。</li> </ul> <p>◇歌詞の表す様子や気持ちを想像しながら歌う学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>【関②行動観察、演奏聴取】</p>	旋律
4	<p>○旋律や拍の流れに気を付けて、のびのびした声で歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・範唱を聴いて、模唱する。</li> <li>・発音や発声に気を付けて歌詞唱する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フレーズごとに丁寧に模唱し、正しい音程やリズムで旋律のまとまりを感じながら歌えるようにする。</li> </ul> <p>◇旋律のまとまりや拍の流れを感じ取りながら、正しい音程やリズムで歌っている。</p> <p>【技①演奏聴取】</p>	旋律 拍の流れ 音色 強弱

〈3次〉歌詞の言葉から想像を広げて歌う。			
5	<p>○歌詞の表す様子や気持ちを想像しながら歌い、表現の仕方を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四つの場面の絵を見て、そこから聞こえてきそうな音を想像する。</li> <li>・四季の移り変わりや、それぞれの場面の様子を思い浮かべながら歌う。</li> <li>・発音に気を付けて、1～4番の場面合う表現の仕方を工夫しながら歌う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員で歌詞を音読したり、一人で読んだりして、それぞれの場面の様子を思い浮かべるようにする。</li> <li>・自分なりに表現の仕方を考えて、体を動かしながら歌うようにする。</li> </ul> <p>◇歌詞の表す様子や気持ちを想像して、発音や表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。</p> <p>【創①発言内容、表情観察、演奏聴取】</p>	旋律 拍の流れ
6	<p>○歌詞の表す様子や気持ちに合う表現の仕方を工夫し、表情豊かに歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉を丁寧に発音して、歌詞を読む。</li> <li>・場面を想像し、強弱や速度に変化を付けて歌う。</li> <li>・グループに分かれて、工夫した歌い方を話し合う。</li> <li>・工夫した歌い方を互いに聴き合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・“ゆれる”“ふわり”“ざぶん”などの言葉に注目し、様子を体の動きで表したり、声の強弱や発音に気を付けて読んだりするように助言する。</li> <li>・音読したときに気を付けたことを生かして歌えるようにする。</li> </ul> <p>◇歌詞の表す様子や気持ちに合った表現で歌っている。</p> <p>【技②行動観察、発言内容、演奏聴取】</p>	速度 強弱
7 本 時	<p>○歌詞から想像を広げて、自分の思いを楽器の音色やリズムで表す。</p> <p>(リズムメーカーの活用)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとに想像を広げた四季の様子を確認する。</li> <li>・自分が担当する季節に合うリズムの組み合わせを考える。</li> <li>・できあがったリズムを曲に合わせて、楽器で演奏する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6パターンのリズムの組み合わせ方を考える際、自分が想像したことや思いに沿って行うように助言する。</li> <li>・実際に楽器で演奏する前に、手拍子でリズムを打たせ、想像した季節の様子に合うものができるように試行錯誤させる。</li> </ul> <p>◇音色やリズムの組み合わせ方を考え、それらが生み出す面白さを感じ取りながら、季節に合う音楽の表現を工夫し、どのような音楽をつくるかについて思いをもっている。</p> <p>【創①演奏聴取、発言内容、ワークシート】</p>	音色 リズム 旋律
8	<p>○グループごとに工夫した「はる なつ あき ふゆ」を表情豊かに演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器を使って演奏し、聴き合う。</li> <li>・お互いのよいところを見付け合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演奏する際は、リズムに加えて楽器の鳴らし方も工夫するよう助言する。</li> <li>・これまで考えてきた動きや歌い方も意識して演奏するよう助言する。</li> </ul> <p>◇グループで工夫しながら、歌詞の表す様子や気持ちに合った表現で歌っている。</p> <p>【技②発言内容、演奏聴取、表情観察】</p>	音色 速度 強弱

9 本時の学習指導

(1) 本時の目標

歌詞から想像を広げて、自分の思いを楽器の音色やリズムで表すことができる。

(2) 評価規準

音色やリズムの組み合わせ方を考え、それらが生み出す面白さを感じ取りながら、季節に合う音楽の表現を工夫し、どのような音楽をつくるかについて思いをもっている。 【音楽表現の創意工夫】

(3) 本時の展開 (7/8時間)

学習内容 ・ 学習活動	T: 教師の働きかけ C: 児童の反応	評価 (◎) 留意点 (○)	時間
1 「はる なつ あき ふゆ」を歌う。	T: どのように歌いたいですか。 C: 夏は一番元気よく歌いたい。	○前時までの学習を振り返りながら歌えるように意識させる。	3
2 前時の活動の振り返りと本時のめあてを確認す	C: 冬は、静かに歌いたいな。		3
かしにあうリズムをかんがえよう。			
・グループごとに想像した四季の様子を全体で交流する。	T: どのような様子を想像しましたか。 C: 私のグループの春は、たんぽぽがたくさん咲いていて、そこでちょうちょや色んな虫たちが遊んでいる様子を想像しました。 C: 僕のグループの秋は、りすの家族がみんなで忙しそうにどんぐりを集めている様子を想像しました。	○前時までにグループで想像した四季の様子をしっかり押さえてからリズム作りの活動に入るようにする。 ○四季のイメージを膨らませるため写真や場面絵などを活用する。	13
3 リズムメーカーを使ってリズムの組み合わせを考える。(8小節分) ・6パターンのリズムを組み合わせながら、音楽をつくる。	T: リズムメーカーを使って、自分が担当する季節に合うリズムを考えましょう。 T: 楽器の代わりにリズムを手拍子で打ちながら考えましょう。	○4人グループで1人1つの季節を担当している。児童は、自分が担当となった季節の歌に合うリズムを考えていく。そのため、学習活動3では、個人での音楽づくりになる。支援が必要な児童には、積極的に声をかけ、適宜助言していく。	
<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">たん たん</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">たん うん</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">た——</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">たたた</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">たん たた</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">た た たん</div> </div>	T: どうして、 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">た——</span> のリズムをこことここに使ったのかな。 C: 歌詞のゆれるとふわりの様子を表すために使いました。		
楽器: 担当する季節に合う音色の楽器を児童がそれぞれ選択	T: ここの部分は、 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">たたた</span> のリズムをたくさん使っているけれど、どうしてかな。 C: こりすが急いで走っている様子を表しました。 T: リズムが作れたら流しながら歌ってみよう。自分のイメージや思いにあっているかな。		○机間指導しながら、なぜこのようなリズムの並べ方にしたのか児童の思いを聞いてく。その際、クラス全体でもその思いを共有していけるようにする。

<p>4 作ったリズムを楽器で打つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実際に楽器を使ってリズム打ちをしながら、さらに試行錯誤していく。</li> <li>完成したリズムの組み合わせ方</li> </ul>	<p>T: 自分がつくったリズムを実際に楽器を使って打ってみましょう。</p> <p>T: 楽器の鳴らし方の工夫も考えてみましょう。</p> <p>C: <b>た——</b> のリズムの所は鈴を細かく振ってみよう。</p>	<p>○楽器の音色や鳴らし方を考える中で、さらにそこから試行錯誤し、自分の思いやイメージに近いリズムをつくらせていく。</p>	<p>15</p>
<p>◎音色やリズムの組み合わせ方を考え、それらが生み出す面白さを感じ取りながら、季節に合う音楽の表現を工夫し、どのような音楽をつくるかについて思いをもっている。</p> <p style="text-align: right;">【音楽表現の創意工夫】</p> <p>〈評価方法〉演奏聴取、発言内容、活動の様子を観察、ワークシート 〈手立て〉</p> <p>◆概ね満足できる状況に高めるための指導 児童がもっている季節のイメージや思いを聞き、それを表現するためにどのようなリズムや楽器の演奏の仕方が合うか一緒に考え、助言する。</p> <p>◇充分満足できる状況に高めるための指導 リズムの組み合わせ方や楽器の演奏の仕方の工夫の理由を歌詞や思いに沿って説明できるように助言する。</p>			
<p>5 全体に発表する。</p>	<p>T: どんな所を工夫しましたか。</p> <p>C: 「おおきな」と「ざぶん」の <b>たん たた</b> のリズムは、タンブリンの音を大きく鳴らす工夫をしました。</p> <p>C: <b>たん うん</b> のリズムを繰り返して空に小さな星が静かに光っている様子を表しました。</p>	<p>○どんな工夫をしたか、どのような思いやイメージでつくったのか児童に発表させる。</p>	<p>8</p>
<p>6 本時の振り返りと次時の学習内容を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートで本時の振り返りを行う。</li> </ul>	<p>T: 次の時間は、グループで発表会をしましょう。</p>		<p>3</p>

10 板書計画

かしをたいせつにして うたいましょう			
<b>かしにあう リズムをかんがえよう。</b>			
たんぽぽ ゆれる わたしが ふわり ちょうちょうが あいさつ はるのみち	春の様子を表す 写真や絵	おおきな くしら ざぶんと もくる たいよう きらきら なつうみ	夏の様子を表す 写真や絵
ごいすが ちょうり どんぐり かかえ いぞいで おでかけ あきのもり	秋の様子を表す 写真や絵	ちいさな ほしが おどろで ひかる きたかせ つめたい ふゆのよる	冬の様子を表す 写真や絵